

目 次

| | |
|---------------|--------------------------|
| 會 告 | 1 |
| 日本建築協會の活動 | 竹 腰 會 長..... 2 |
| 就 任 挨拶 | 西 川 總 一..... 3 |
| 住宅復興とこれからの住生活 | 藤 田 金 一 郎..... 4 |
| 新しい住生活 | 羽 仁 説 子..... 5-7 |
| 正倉院のことども | 池 田 谷 久 吉..... 8-9 |
| 家族向アパートに就て | 武 田 健 三..... 10-13 |
| 廣島平和祭・吳 | 藪 中 一 良..... 14 |
| 建築施工技術の振興を計れ | 渡 部 圭 吾..... 15-18 |
| 相互欄、俳句、會員章 | 18-19 |
| サ ロ ン | 岩 佐 信 也 外 2 名..... 20-23 |
| 英 辭 典 | 24-25 |
| 建築文献目録 | 26 |
| 會 務 報 告 | 27-29 |
| 後 記 | 30 |

編 輯 後 記

いつしか虫の音に親しむ詩的シーズンを迎えた頃漸く追ひナンバー八號を出す事となつた、食料の遅配を眞似た譯でないが種々の隘路にブツツかり豫期の成果を擧げる事が出来ず遺憾に耐えない原因は曰く紙材難、經費問題、内容の改革問題等々であるが經財問題が何と言つても最大である、今之等の問題につき協會幹部で根本的に調査研究が進められてゐるから遠からず何等かの方法で解決される事と思ふ。我々幹事は與へられた範圍で最善を盡してゐる事を諒せられたい。さあれ本號は藤田金一郎氏のこれからの住生活を羽仁説子女史の新しい住生活等の玉稿を符誌上に華を添へた事を悦ぶ次第である二稿共前號締切直後頂いたので大變遅れて掲載した事をお許し願ひたい。渡部圭吾氏の施工技術の稿は紙面の都合上分割掲載の止むなきに到り筆者にも讀者にも申譯ないがお許しを願ひたい次號で完結の豫定である。本誌の内容組方等も色々意見があり如何にすれば經濟的で然も會員各位の御満足を得られるか毎號幹事會で頭を悩ましてゐる各位の眞摯な御意見を寄せられん事を熱望してゐる。今回は取敢ず項目を擧げて御意見を徴する事とした、次號からは口繪も復活掲載したいと計畫中である、サロンは相當人氣を呼んでゐる事と思ふが各方面からのいろいろの御投稿を待望してゐる、又各支部や地方からローカルの記事も是非寄せて頂きたいものである

(幹事長記)

建 築 と 社 會

第 28 輯 第 6. 7. 8 號
 毎月 1 回發行 定價 1 部 金 10 圓
 昭和 22 年 9 月 20 日 印刷
 昭和 22 年 9 月 25 日 發行

編輯發行人 戶 川 弘

發行所 社 團 日 本 建 築 協 會
 法 人

大阪市北區中之島3の3朝日ビル
 電話土佐堀(44) 1836・3631番
 電話福島(45) 2862~2867番
 振替口座大阪39975番

印刷人 山 口 忠 司

印刷所 株 式 會 社 大 洋 社
 大阪市西區江戶堀上通2の52
 電話土佐堀(44) 717番